

第10回 がんばっています!!

市内の団体や個人を紹介します。

陸前高田市観光物産協会働く小林大樹さん(29歳・写真右)と多勢太一さん(26歳・写真左)。同協会は2年前に一般社団法人化し、海水浴場業務、YouTube、パークガイド、建築巡りスタンプラリーなど、多岐にわたる事業に取り組んでいます。このうち、同協会も運営に協力し、7月17日と18日に高田松原で開かれた東北初のフレスコボール公式大会には、日本代表をはじめ100人以上がエントリーしました。相手を打ち負かすのではなく、ペアで羽子板のようにラリーしながら数や技を競うもので、「思いやりのスポーツ」とも言われるフレスコボールについて聞きました。
(担当・木村聡、伊勢純)



フレスコボールの紹介←



小林 大樹さん

矢作町出身で、コロナ禍になってから協会に勤めています。来られない方がいる中で動画編集を武器に地域の魅力を発信しています。フレスコボールのルールやコツを紹介した動画もありますのでご覧ください。今大会の収益の一部は高田松原の再生に寄付させていただきます。気仙杉を使用したマイラケットで参加された人もいました。林業をはじめ陸前高田の魅力も加えた大会運営ができました。

多勢 太一さん

千葉県出身で2年前に移住してきました。三陸トレイルの認知度を高め、特製ビールの販売など、市内事業者とも連携したいと考えています。フレスコボールは私自身もエントリーしてプレイしました。誰でも楽しめる思いやりのスポーツは、ノーマライゼーションの文脈ともぴったりでした。大会に参加してくださった人たちと今後も関係をつなぎ、何度も陸前高田に訪れていただけるよう協会内の各事業とも連携していきたいです。



- | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|------|
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 佐々木 | 伊勢 | 伊藤 | 小澤 | 大和田 | 木村 | 蒲生 | 鵜浦 | 加代子 | 木村聡 | 鵜浦哲也 |
| 一義 | 純 | 勇 | 睦 | 子 | 聡 | 昌 | 也 | | | |

編集委員会

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法により
暑中お見舞い等を個別に送ることは
できませんのでご理解願います。



陸前高田市議会議員一同

あとがき

「漁業や農業は資材の値段が上がっても、売るものの値段は変わらない」、「建築関係の材料値上がり分をお客さんにそのまま請求できない」。

市内事業者からは、物価高騰や円安の影響を販売価格や請求額に転嫁できない苦しみの声が上がっています。さらに、新型コロナウイルス感染症による健康や経済への影響も未だに厳しい状況にあります。

市議会は市民を代表し、当局の各種施策を予算と共に決定する役割があります。今定例会では物価高騰の下で市民生活への支援を決めました。プレミアム付商品券の販売、子育て世帯や住民税非課税世帯への支援、燃油高騰対策としてバスなどの運輸、漁業、農業への支援などを打ち出しています。

今後、15ページに掲載したクイズの解答と共に市民の意見や提言を気軽に市議会へお寄せください。

(伊勢 純)